

ILCプロジェクトの推進と令和6年度の取組

目指す姿

国際リニアコライダー（ILC）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指します。

現状と課題

- ◆ 研究者が**2030年を建設開始とするタイムラインを公表**。政府のタイムリーな誘致判断を後押しするため、**国民的な機運の醸成が必要**。
- ◆ 産学官共同により、**まちづくりのモデルケースの策定を推進**。市町村による**ILC誘致を契機にしたまちづくりを促すことが必要**。
- ◆ 県内企業に対する**加速器関連産業への参入支援や技術指導等を実施**。参入意欲のある**県内企業の技術力向上が必要**。
- ◆ **カーボンニュートラル実現に向けた持続可能な森林資源の活用方法等の研究を推進**。**継続的なグリーンILCの取組や更なる理念の普及が必要**。

今後の展開

国民・県民理解の増進

- ◆ 政府のタイムリーな誘致判断を後押しするため、**国民的な機運醸成の取組を展開**
- ◆ より多くの国民に訴求するため、関係団体や多様な人脈を生かした**県外向け理解促進の取組を推進**

国際研究拠点の形成支援等

- ◆ 産学官共同で策定を進めているまちづくりのモデルケースについて市町村と共有する取組を推進
- ◆ 受入環境の整備に向けた関係機関の取組を促進

イノベーションの創出

- ◆ コーディネーターによる**県内企業の加速器関連産業への新規参入の促進及び国内加速器プロジェクトへの参入を支援**
- ◆ **試作品性能評価機器を活用し、技術力向上を支援**
- ◆ いわて加速器関連産業研究会を軸にした大学、公設試験研究機関等との連携による共同研究を推進

グリーンILCによるエコ社会の実現

- ◆ **排熱の有効利用**に向けた研究や**ILC立地地域におけるCO²吸収量の把握**などの共同研究を着実に推進
- ◆ **グリーンILCの普及啓発**を推進

令和6年度の具体的な取組

ILC推進事業費115百万円

令和6年度は次の取組を重点的に推進するほか、周辺市町村のまちづくりの取組支援や外国人研究者等の受入環境整備の取組を着実に推進。

- ① **国民・県民理解の増進**（ILC推進事業費16百万円）
▶ より多くの国民の理解を促進し、国民的機運醸成を図るため、様々な人材や人脈を活用し、**効果的なメディア展開による普及啓発活動**を実施
- ② **イノベーションの創出**（ILC推進事業費 27百万円[政プロ費]）
▶ 加速器コーディネーターによる企業訪問や技術指導等により、**加速器関連産業への新規参入を目指す企業を発掘**するとともに、**国内加速器プロジェクトでの受注に向けた支援**を実施
▶ 岩手ILC連携室・オープンラボに整備した**試作品性能評価機器**を活用し、**県内企業の技術力向上を支援**するほか、**産学官での共同研究**を推進
- ③ **グリーンILC**（ILC推進事業費 1百万円[政プロ費]）
▶ **蓄熱吸着材による熱輸送システムの実用化**に向けた研究や、ILC立地地域における**CO²吸収量の算出精度向上**に向けた研究を継続
▶ グリーンILCの理念や取組の理解促進を図るため、**セミナーを開催**

【ILC計画をめぐる動き】

- ◆ 研究者が2030年を建設開始とするタイムラインを公表
- ◆ 高エネルギー加速器研究機構・ILC国際推進チームにおいて、国際協働による研究開発や、政府間協議に向けた取組が進められている

1 加速器関連産業への参入促進等に向けた取組が進む

- 加速器関連産業研究会への参加企業は173社（R 4時点）
- 産業支援機関等と連携した加速器関連産業における新規共同研究開発件数は4件（R元～R 4累計）
- 県内企業による加速器関連の受注実績は28件（R元～R 4累計）



加速器関連産業研究会「第2回チャレンジ部」

2 ILCなど科学技術に関する県民理解が進む

- ILCなど科学技術に関する講演会にのべ約1万6千人が参加（R元～R 4累計）
- 県内高校生を対象とした科学・工学コンテストを開催し、これまで10校から33チームが参加（R元～R 5累計） ※R3年度は中止



令和4年度高校生科学・工学コンテスト

3 グリーンILCによるエコ社会の実現に向けた取組が進む

- 盛岡市でILCに関するサステナビリティ国際ワークショップが開催、世界にグリーンILCの取組を発信。



国際WS現地視察(松尾八幡平地熱発電所)